

(令和6年6月11日 オンラインによる全校集会)

みなさん、おはようございます。

本日は、先日行われた県高校総体の報告が主な内容です。この後、各部の代表から報告がありますが、この夏、北九州地区で開催されるインターハイに出場が決まったのは、現時点で新体操、バドミントン、卓球、そして男子バレーボールです。他にライフル競技部が広島県で開催される全国大会に出場が決まりました。

そして、水泳は21日から県大会があり、水泳と陸上は東北大会を経て全国大会が決まりますが、これらに続けるよう頑張ってください。また、放送部はNHK杯全国高校放送コンテストの創作ラジオドラマ部門で1位となりました。

さて、今回で部活動を引退することになった3年生の皆さん、お疲れ様でした。悔しい思いをしている人もいるでしょうが、結果は結果として受け止め、それでもこれまで2年2か月余りのプロセスには誇りをもって引退してほしいと思います。

この写真を見てください。昨年暮れに私の友人が見せてくれたものです。これは本校サッカー部が試合の時にバッグを整然と並べていた写真で、実はもう一枚、他の学校のものもあり、そちらは乱雑に置かれていました。友人はこれを見て感激し、写真に残し私に見せてくれたのでした。部活動というのはゲームに勝つことだけを求めるのではなく、部員皆が人間的な成長を求めている姿に共感を覚えたということでした。



もう一つ、褒められた話をします。私が定期的に通っているお医者さんからの話です。城北高校の前を車で通りがかり、横断歩道で一時停止したところ、渡り終えた後にお辞儀をされ感銘を覚えたということでした。生徒会では「ぺこり運動」を実施していますが、右側から来る車が止まってくれた時は渡る前に「ぺこり」、左側から来る車が止まってくれたときは渡った後に「ぺこり」、これをぜひ習慣化しましょう。

次に、生徒会から要望のあったアイスクリームの自動販売機についてです。今週の木曜日(13日)、昇降口に設置になります。業者さんと交渉し、生徒会には売り上げの5%をいただけることになりました。200円のアイスクリームであれば10円が生徒会の収入になるということです。なお、生徒会長からもありましたが、校舎内や駅までの歩道などにごみのポイ捨てがあった場合は、自動販売機の撤去も考えなければなりません。これに限ったことではないのですが、一人の身勝手な行動が他の人の幸せを奪ってしまいます。十分気をつけてください。

最後に、この本『G2P-Japanの挑戦』について。著者は佐藤佳君という私の教え子で、現在42歳、東京大学医科学研究所の教授です。専門はウイルス学で、コロナが蔓延していた時は幾つもの論文を発表し、世界の最先端で活躍している人です。

大谷翔平選手が全国の小学校にグローブを贈ったということに感化され、自分の著書であるこの本を全国全ての高校に寄贈したいということで、先日本校の図書館にも届きました。

コロナ禍において、ウイルス学者たちはどんなことを考えながら行動していたのか、例えば、ネズミがコロナに感染しているかどうかを調べるために夜の繁華街でネズミの捕獲作戦を執行するなど、大変興味深い内容が満載でした。ぜひ手に取ってみてください。

